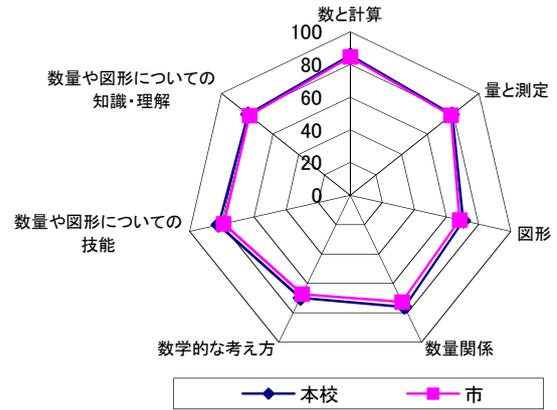


宇都宮市立西原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	85.7	84.6
	量と測定	79.3	78.3
	図形	70.5	68.2
	数量関係	76.0	72.6
観点別	数学的な考え方	69.8	67.3
	数量や図形についての技能	82.1	78.9
	数量や図形についての知識・理解	79.4	78.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市の平均正答率を上回った。 ・分数の乗法・除法の計算では、約分ありの問題で誤答が目立った。 ・文章問題においては、題意を図に示す問題において誤答が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を継続し、さらに個に応じた指導を充実させていく。 ・文章問題においては、題意や立式の手順を再確認するとともに、練習問題に数多く取り組むようにする。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市の平均正答率を上回った。 ・体積を求める問題はよくできていたが、前学年までに学習した、面積を求める問題で誤答が多かった。 ・速さの問題は大変良くできていた。また、単位を換算する必要のある問題も、市の平均正答率をわずかに上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、速さを意識させるとともに、時速を分速に直すなど、単位を変換する問題に多く取り組む。 ・必要に応じて既習事項を振り返る機会をもち、学習内容の深化・統合を図っていく。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市の平均正答率を上回った。 ・円の半径から演習を求める問題は大変良くできていた。 ・点対称の対応する点を求める問題で誤答があった。 ・三角柱の展開図の問題で誤答が目立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対称の軸の数を求める問題では、軸を実際に図形に書き込み、数を数えるように徹底する。 ・実物や視聴覚教材を活用し、展開図がイメージしやすいようにする。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市の平均正答率を上回った。 ・比と比の利用の問題はよくできていた。 ・文字の式では、比例の関係を文字式に表わす問題で誤答が多かった。しかし反比例の表を読み取る問題は大変良くできていた。 ・帯グラフから割合を読み取り、比較量を求める問題で誤答が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、割合を使った場面を意識させるとともに、練習問題に数多く取り組む。 ・文字式に抵抗感をなくすため、□や○を利用した式を想起させながら問題に取り組む機会をもつ。